
各 位

会 社 名 株 式 会 社 高 速
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 赫 裕 規
(東証 1 部 証券コード 7504)
問 合 せ 先
責 任 者 社 長 室 長 三 田 村 崇
(電 話 022-259-1611)

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社グループは、別紙の通り 2021 年度～2025 年度までの 5 ヶ年を対象とする中期経営計画を策定いたしましたのでお知らせいたします。

※本資料に掲載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上

中長期経営計画について〔2018年度～2025年度〕

当社グループでは、2026年2月に創業60周年を迎える2025年度までの8年間の長期ビジョンを下記のとおり定めております。2018年度～2020年度中期経営計画を第1フェーズ、2021年度～2025年度中期経営計画を第2フェーズとし、高速グループビジョン実現に向けて取り組んでまいります。

グループビジョン

高速グループビジョン

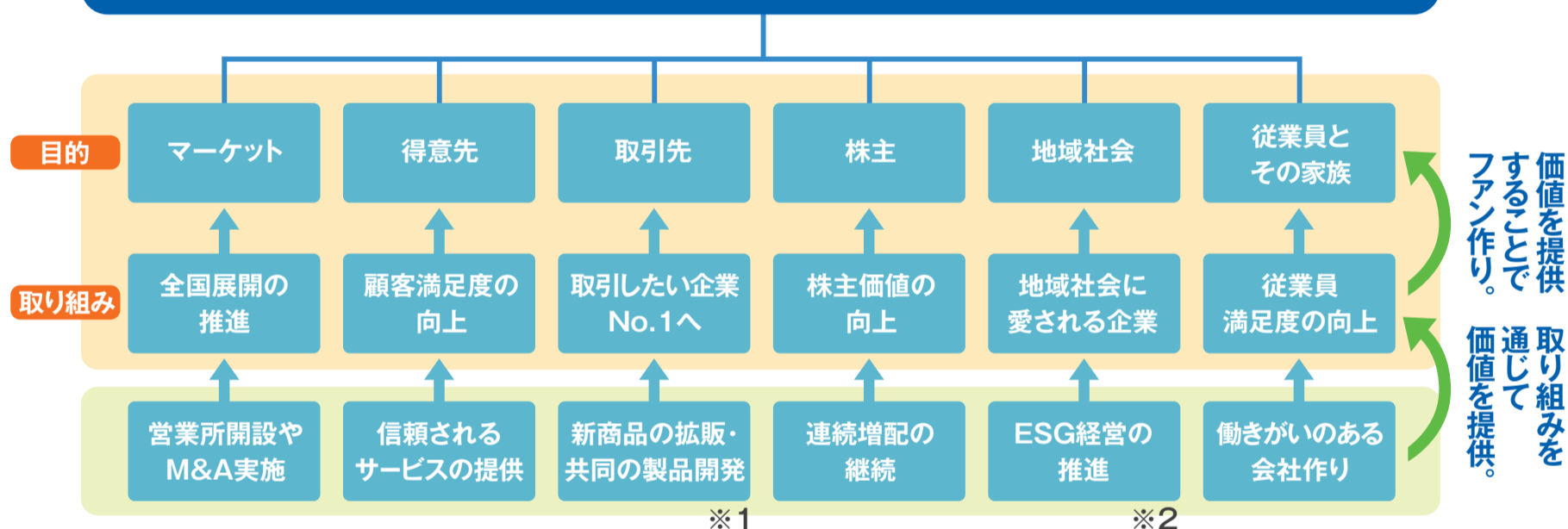
高速グループは「包装」を通して、
すべてのステークホルダーに「高速ファン」を増やし、
社会にとって有用な
「グッドカンパニー」を目指します。

中長期の経営基本方針

「包装を通して、すべてのステークホルダーに『高速ファン』を増やし、社会にとって有用な『グッドカンパニー』を目指す」というビジョンを掲げるとともに、以下の経営基本方針に基づく取り組みを通じて「価値」を提供してまいります。

キーワード

高速ファン作り



2021年度～2025年度の中長期経営計画では、中長期の経営基本方針において取り組みテーマを明確化いたしました。

※1.環境に配慮した製品などメーカーの新製品を積極的に販売し、さらに取引先と共同での製品開発を実施いたします。

※2.食の流通を支える企業として、環境問題への対応などサステナビリティへの取り組みをより重視してまいります。

1. マーケットに対する取り組み

新規開拓・深耕活動の徹底、営業所開設やM&Aの活用により、全国展開を推進する。

2. 得意先に対する取り組み

信頼されるサービスの提供により、顧客満足度の向上を目指す。

3. 取引先に対する取り組み

新商品の拡販・共同の製品開発を通じ、取引したい企業No.1を目指す。

4. 株主に対する取り組み

企業価値・株主価値の向上のため、企業の成長と連続増配を継続する。

5. 地域社会に対する取り組み

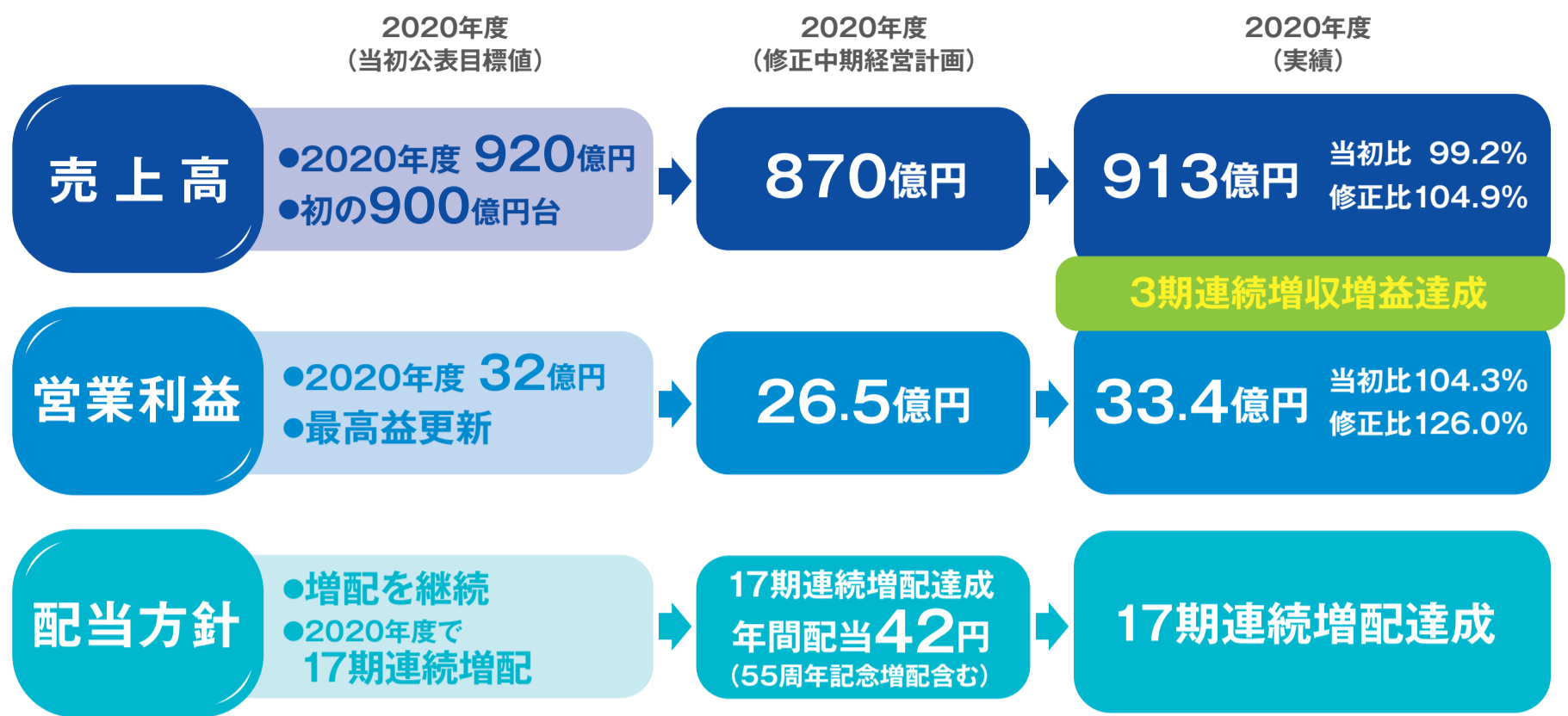
ESG経営を推進することにより、地域社会に愛される企業となることを目指す。

6. 従業員と家族に対する取り組み

働きがいのある企業作りを通じて、従業員満足度の向上を目指す。

高速グループ中期経営計画(第1フェーズ)達成状況

2018-2020年度

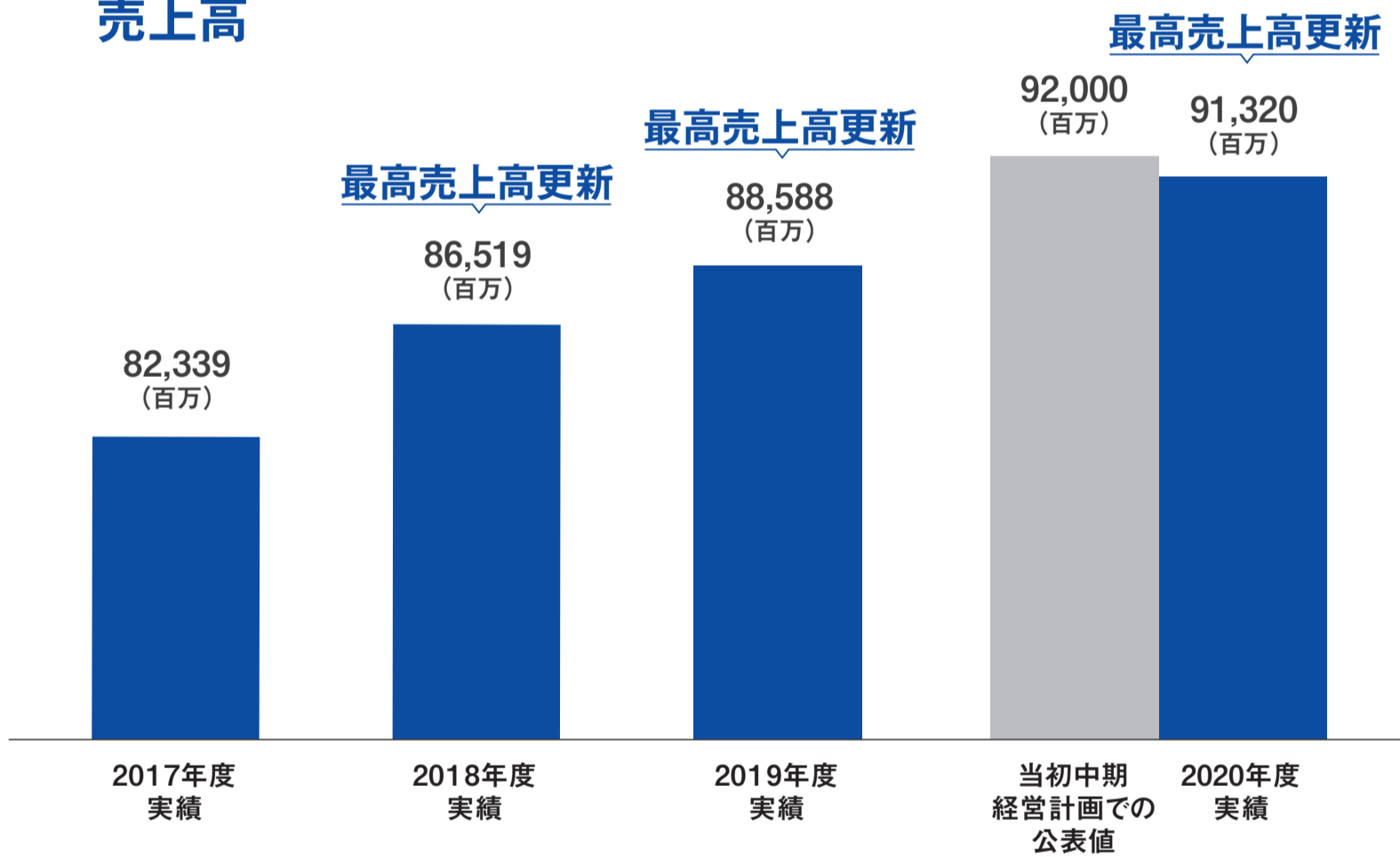


中期経営計画(第1フェーズ)の達成状況について、当初公表目標値との比較では、売上高は当初比99.2%と及ばなかったものの、営業利益は当初比104.3%と、当初公表目標値を達成いたしました。売上高は過去最高売上高、営業利益は過去最高営業利益を達成いたしました(3期連続)。また、配当についても17期連続増配を継続し、当初公表目標値を達成しております。

なお、当社グループでは、新型コロナウイルスの感染症拡大の影響で、中期経営計画(第1フェーズ)の最終年度である2020年度の業績予想を修正いたしました。修正中期経営計画に対し、売上高は修正計画比104.9%、営業利益は修正計画比126.0%となり、売上高・営業利益ともに修正目標値を達成いたしました。

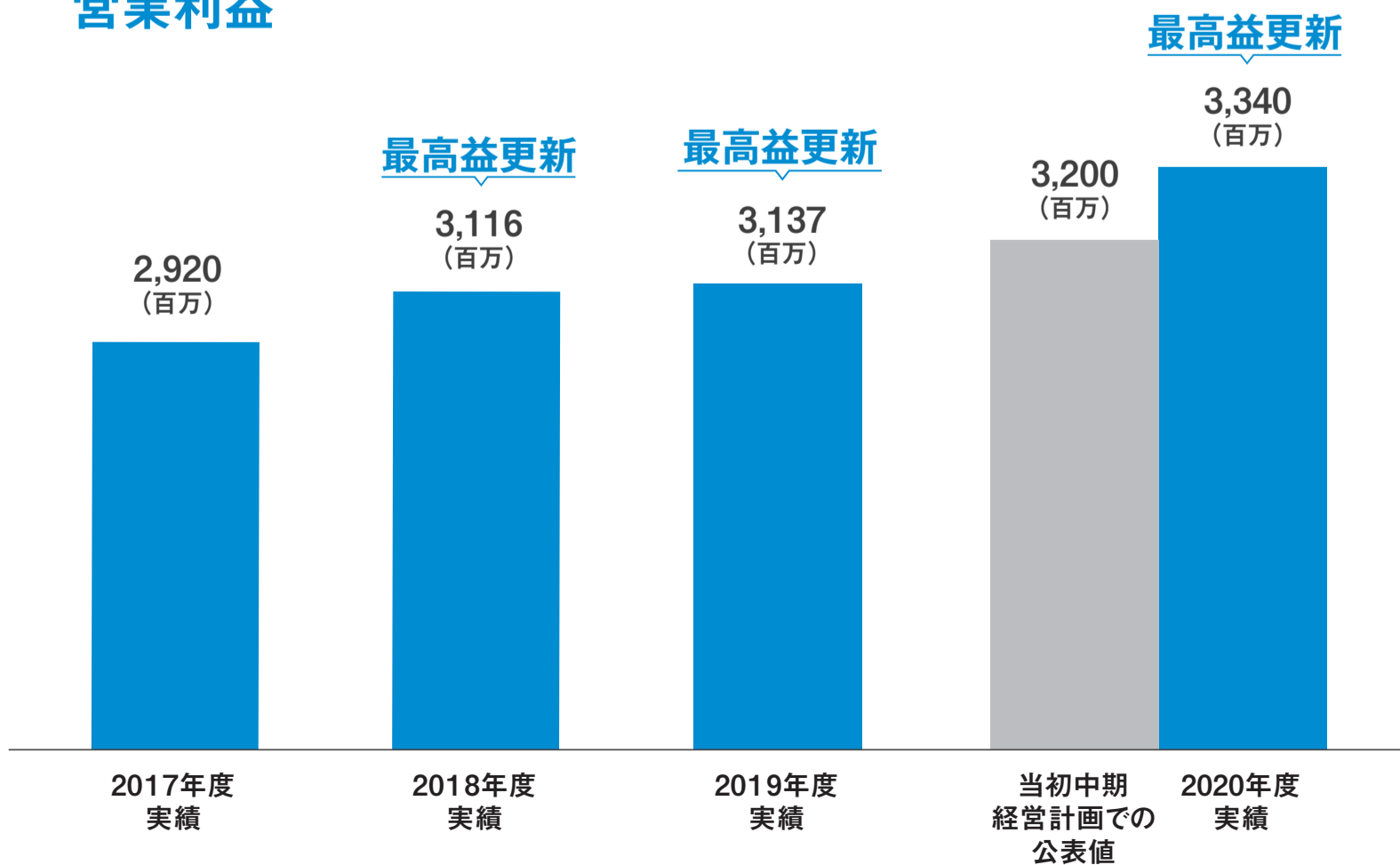
中期経営計画値に対する進捗度

売上高



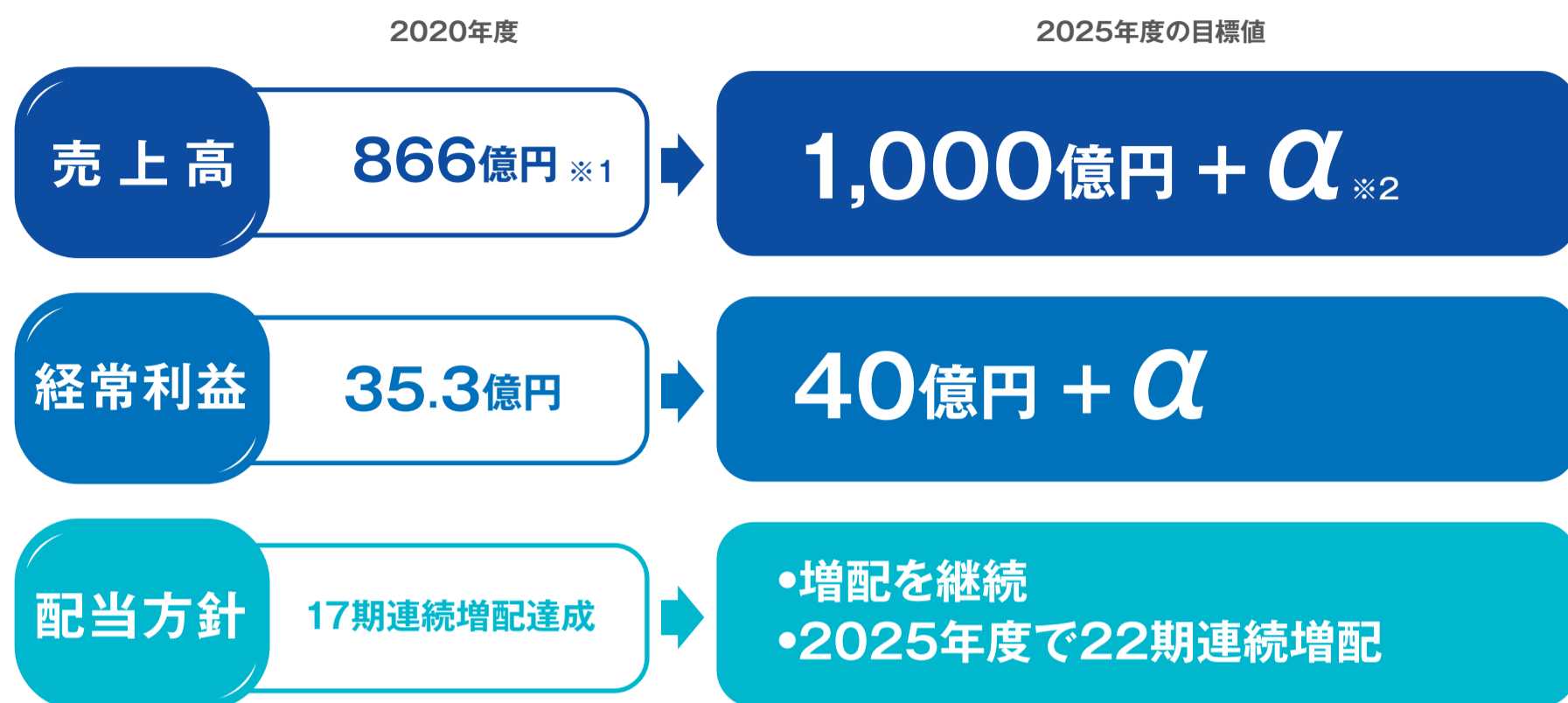
中期経営計画値に対する進捗度

営業利益



高速グループ中期経営計画(第2フェーズ)について

2021-2025年度



※1.中期経営計画(第1フェーズ)最終年度である2020年度の売上高について、収益認識に関する会計基準を適用した場合、866億円となる見込みであります。

※2.中期経営計画(第2フェーズ)の目標値は、収益認識に関する会計基準を適用した前提で策定しております。

当社グループでは、2021年度から2025年度までの5年間の中期経営計画を第2フェーズとして公表しております。中期経営計画(第2フェーズ)では、既存ビジネスの確実な成長により売上高1,000億円、経常利益40億円を達成するだけでなく、+ α の取り組みにより売上・利益のさらなる積み上げを目指してまいります。配当については、これまで継続して来た増配をさらに継続し、2025年度で22期連続増配に向け努めてまいります。

目標達成に向けての“3”Actions

Action.1

既存ビジネスの確実な成長



売上高
1,000億円

経常利益
40億円

達成を目指す

Action.2

新製品開発、新ビジネスへの挑戦



+ α

Action.3

全国展開へのスピードアップ



Action.1

既存ビジネスの確実な成長により、中期経営計画の最終年度である2025年度に、高速グループとして売上高1,000億円、経常利益40億円を目指してまいります。

Action.2

環境問題対応などの社会的要請や得意先様のニーズに応えるため、取引先様と共同して新製品の開発・拡販を行ってまいります。また、EC事業のさらなる成長を図ってまいります。

Action.3

M&Aや営業所の新設により全国展開へのスピードアップを図り、より一層の企業価値向上を実現してまいります。

中期経営計画値に対する進捗度
配当方針



2020年度については、創立55周年記念配当11円を加え、1株当たり年間42円の配当を予定しております。2021年度については、1株当たり2円増配とし年間44円の配当を予定しております(18期連続増配予定)。

※なお、本件は2021年11月と2022年5月開催予定の取締役会の決議をもって正式に決定する予定です。